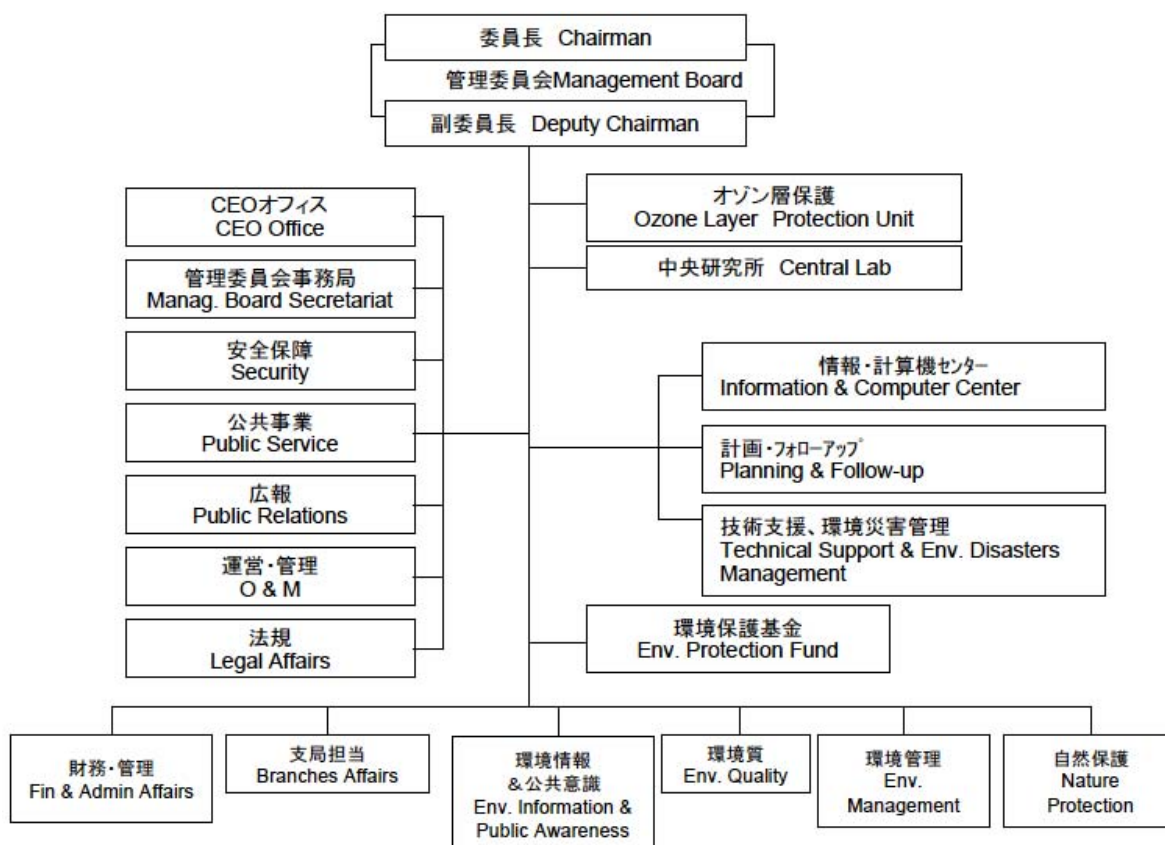


## 4 環境政策及び環境行政関連機関

### 4.1 環境庁(Egyptian Environmental Affairs Agency: EEAA)

エジプトにおける環境政策は、1982年に環境庁（EEAA）が設立される前から、保健人口省（MoHP：Ministry of Health and Population）、農業干拓省（MALR：Ministry of Agriculture and Land Reclamation）、水資源灌漑省（MWRI：Ministry of Water Resources and Irrigation）など、数多くの機関がそれぞれのセクターにおいて個々に策定・実施されてきた。しかし、急激な工業化及び都市化によりもたらされた多種多様な環境問題に対処する為、1994年に法律4（Law 4/1994 for the Protection of the Environment）を制定し、エジプト環境庁（EEAA：Egyptian Environmental Affairs Agency）を再編、環境政策の策定過程における各関連機関との調整及び包括的な環境政策の立案・実施の責務を持つことになった<sup>1</sup>。その後1997年には、専任の大臣が任命され、Ministry of State for Environmental Affairs（MESA）が設立されたことにより、EEAAはMESAの下の機関となったが、実質的な環境行政を行う機関は、EEAAである。



出典：国際協力事業団「国別環境情報整備調査 報告書（エジプト国）」平成14年2月

図 4.1: EEAA の組織図

<sup>1</sup> EEAA は、1982年に大統領令 No. 631により Agencyとして設置された。